

ビジョン編

第1章 はじめに

◆ 背景と趣旨

- ▶ 人口減少社会の到来、急速な高齢化の進行、東日本大震災に伴う原発事故等によるパラダイムの転換など、札幌を取り巻く環境は大きく変化
- ▶ 私たちが目指すべきまちの姿と共有すべきまちづくりの方向性を明らかにするものとして策定

◆ 位置付け

- ▶ 札幌市のまちづくりの基本的な指針、最上位の計画
- ▶ 中期実施計画（新まちづくり計画）や個別計画は、ビジョンの基本的な方向に沿って策定・実行

◆ 計画期間と目標年次

- ▶ 計画期間は平成25年度から34年度までの10年間
- ▶ 目標年次は平成35年

◆ 特色

- ▶ 「行政計画」から「市民計画」への転換
- ▶ 「ビジョン編」と「戦略編」の2部構成
- ▶ 実施型から未来実現型への転換
- ▶ 市民、行政の役割分担の明確化

第2章 社会経済情勢の変化と札幌

第1節 札幌を取り巻く社会経済情勢の変化

- 1 人口の将来見通し
 - ▶ 札幌市の人口（H27前後をピークに減少局面へ。H37に約3人に1人が高齢者。）
 - ▶ 北海道の人口（北海道の人口はH7をピークに減少）
- 2 人口減少・超高齢社会を迎える札幌
 - ▶ 見守りが必要な世帯増、地域コミュニティの維持が困難
 - ▶ 生産年齢人口の減少に伴う経済規模の縮小
- 3 グローバル化の進展
- 4 地球規模の環境・エネルギー問題の深刻化

第2節 札幌・北海道の魅力と資源

- 1 札幌の魅力と強み
 - ▶ 豊かな自然環境、少ない自然災害、札幌に集積する都市機能、札幌らしい文化、ライフスタイル、札幌人の気質
- 2 郷土意識と外から見た評価
 - ▶ 市民の愛着、外から見た札幌のブランドイメージ
- 3 未来を切り開くために活用すべき北海道の資源
 - ▶ 北海道の食・自然・豊富に賦存する再生可能エネルギー

第3章 私たちが目指す札幌市の将来

- ◆ 『北海道の未来を創造し、世界が憧れるまち ～心ときめくまち・さっぽろ～』
- ◆ 『互いに手を携え、心豊かにつながる共生のまち ～笑顔になるまち・さっぽろ～』

第4章 まちづくりの基本目標

- ◆ 都市像を実現するためのまちづくりの基本的な目標
- ◆ 7つの重要な視点と24の基本目標を設定
- ◆ 基本目標毎に将来のまちの姿や各主体の取組を明記

第1節 地域～つながりと支え合い

- 1 共生と交流により人と人がつながるまちにします
- 2 さまざまな担い手が地域のまちづくり活動に
参加するまちにします
- 3 多様な地域課題を解決できるまちにします

第2節 経済～暮らしと雇用を支える

- 4 強みを生かした産業が経済をけん引するまちにします
- 5 さまざまな連携により産業が高度化するまちにします
- 6 市民の雇用が安定的に確保されるまちにします
- 7 強みを生かしグローバル化に対応するまちにします
- 8 地域コミュニティを支える産業を大切にします

第3節 子ども・若者～健やかに育む

- 9 安心して子どもを生み育てられるまちにします
- 10 将来を担う子どもの成長と自立を支えるまちにします
- 11 若者が社会的に自立し活躍できるまちにします

第4節 安全・安心～人に優しいまち

- 12 誰もが健康的で安心して暮らせるまちにします
- 13 地域防災力が強く災害に強いまちにします
- 14 安全な日常生活が送れるまちにします

第5節 環境～次世代へ引き継ぐ

- 15 豊かな自然と共生するまちにします
- 16 資源やエネルギーを有効活用するまちにします
- 17 市民が環境について学び行動するまちにします

第6節 文化～創造性を育む

- 18 創造的な活動により活力あふれるまちにします
- 19 文化芸術やスポーツにより産業が発展するまちにします
- 20 市民一人ひとりが魅力を再認識し発信するまちにします

第7節 都市空間～魅力と活力のある都市の形成

- 21 公共交通を中心とした集約型のまちにします
- 22 札幌の顔となる魅力あふれる都心にします
- 23 都市の価値を高めるみどりを生かしたまちにします
- 24 都市基盤が適切に維持・保全されるまちにします

第5章 ビジョンの推進に当たって

- ◆ ビジョンの推進に当たっての「基本理念」
- ◆ 一体となって取り組むための共通の「基本姿勢」
- ◆ ビジョンを戦略的に推進するために必要となる「選択と集中」

第1節 基本理念

～ 世界に誇る札幌の未来をつなぐ子どもたちのために ～

第2節 基本姿勢

- 1 市民が主役のまちづくり（市民一人ひとりの参画、多様な主体によるネットワークの推進）
- 2 まちの活力を高める人づくり（札幌人の育成、市民が活躍できる環境づくり、未来を担う子どもたちへのまなざし）
- 3 北海道と共に発展する札幌（北海道の資源との連携、北海道内の経済循環の促進、北海道の魅力の発信）
- 4 限りある資源の有効活用と共創（官民の持つ力による共創の推進、世代間の公平性に配慮した資源活用）

第3節 ビジョンの効果的推進

- ▶ 市民生活に大きな影響を及ぼす課題を的確に見定め、「選択と集中」による戦略的なまちづくりを推進
- ▶ 戦略的に取り組むべきテーマ「暮らし・コミュニティ」「産業・活力」「低炭素社会・エネルギー転換」